

〔科目名〕 卒業研究	〔単位数〕 4単位	〔科目区分〕 卒業研究科目				
〔担当者〕 工藤 恭嗣		〔授業の方法〕 演習				
〔演習テーマ〕 GAFAM(Google, Apple, Facebook, Amazon, Microsoft)など、デジタルプラットフォームを運営する事業者が市場に与える影響については、我が国のみならず世界の競争当局が目を光らせ、様々な規制が導入されてきました。本卒業研究では、デジタル経済におけるプラットフォームビジネスについて経済学の視点から接近し、プラットフォームの基本的な経済理論を学ぶことを通じ、ネットワーク効果とビジネスモデル、戦略、市場への影響等について学びます。本卒業研究の参加者は、プラットフォームの設計や政策課題についての理解を深め、事例研究を通じて理論を実践に応用する力を養います。						
〔演習内容〕 発展著しい分野であることから、直接及び間接ネットワーク効果を中心とする基礎的な事項をテーマに、次のとおり進めたいと考えています： <ul style="list-style-type: none"> ・各テーマについて報告担当者(各班2～4名)を決め、報告担当者はテキストの担当箇所について説明し、 ・報告者以外の参加者も事前にテキストを読んでおき、報告された内容について質問や議論をする。 以上のやり取りを通じてプラットフォームを運営する事業者の行動に関する経済理論の理解を深め、卒業研究の成果として、特定のプラットフォームを運営する事業者の行動、プラットフォームに係る独占禁止法の事例等について経済学的に分析した論文を作成する。						
〔科目の到達目標〕 <ul style="list-style-type: none"> ・プラットフォームに関する経済学について理解を深めること。 ・論理的思考(ロジック)と説得力ある表現方法(レトリック)の素養を養うこと。具体的には、 <ul style="list-style-type: none"> →競争政策に関する経済学の学習を通じて、その時点での自分の考えを整理すること(ロジック) →卒業研究内での討論を通じて、自分の考えを他者(ここには未来の自分も含む。)が理解しやすい形で伝えること(レトリック) 						
〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕						
学部				学科		
DP1 ○	DP2	DP3 ○	DP4 ○	DP1	DP2 ○	DP3 ○
〔前提条件〕 必須の条件ではありませんが、次の9科目を履修済みであることが望ましいです： 情報リテラシーⅠ・Ⅱ、マイクロ経済学、応用マイクロ経済学、経済数学、計量経済学、実証経済分析、産業組織論、ゲーム論						
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 卒業研究への参加(発表、質問等)、作成した卒業論文等に基づき、総合的に評価します						
〔教科書等〕 (テキスト) Paul Belleflamme and Martin Peitz “The Economics of Platforms: Concepts and Strategy,” Cambridge University Press, 2021 (参考書) ・小田切 宏之『産業組織論 ― 理論・戦略・政策を学ぶ』有斐閣、2019 ・石橋 孝次『産業組織 - 理論と実証の接合』慶應義塾大学出版会、2021 ・公正取引委員会 年次報告 (https://www.jftc.go.jp/soshiki/nenpou/)						

・経済産業省 デジタルプラットフォーム
(https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/digitalplatform/index.html)

〔実務経歴〕

授 業 スケ ジ ュ ー ル

時期	テーマと内容
春学期	<ul style="list-style-type: none">・卒業研究を進める上で必要となる産業組織論とゲーム論の復習(生産量決定型/価格決定型の同質財寡占市場や製品差別化を含む寡占市場とナッシュ均衡、企業結合等)・テキストに沿ってプラットフォームの経済学を学修
秋学期	<ul style="list-style-type: none">・引き続き、テキストに沿ってプラットフォームの経済学を学修・プラットフォームのビジネスモデルが有し得る競争への制限・経験的手法(計量経済学や実証経済分析のほか、必要に応じて数値計算、プログラミング等)のおさらい・卒業論文のテーマの選定、執筆、発表